

Bruffaerts R, de Jonge P, Liu Z, Miguel Caldas-de-Almeida J, O'Neill S, Viana MC, Al-Hamzawi AO, Angermeyer MC, Benjet C, de Graaf R, Ferry F, Kovess-Masfety V, Levinson D, de Girolamo G, Florescu S, Hu C, Kawakami N, Maria Haro J, Piazza M, Posada-Villa J, Wojtyniak BJ, Xavier M, Lim CC, Kessler RC, Scott KM. Associations between mental disorders and subsequent onset of hypertension. *Gen Hosp Psychiatry*. 2014 Mar-Apr;36(2):142-9. doi: 10.1016/j.genhosppsy.2013.11.002.

4) Karam EG, Friedman MJ, Hill ED, Kessler RC, McLaughlin KA, Petukhova M, Sampson L, Shahly

V, Angermeyer MC, Bromet EJ, de Girolamo G, de Graaf R, Demyttenaere K, Ferry F, Florescu SE, Haro JM, He Y, Karam AN, Kawakami N, Kovess-Masfety V, Medina-Mora ME, Browne MA, Posada-Villa JA, Shalev AY, Stein DJ, Viana MC, Zarkov Z, Koenen KC. Cumulative traumas and risk thresholds: 12-month PTSD in the World Mental Health (WMH) surveys. *Depress Anxiety*. 2014 Feb;31(2):130-42. doi: 10.1002/da.22169.

2. 学会発表

該当なし

表 1-1 世界精神保健日本調査セカンド 2013 関東地方調査で使用した WHO-CIDI のセクション一覧

スクリーニング Screening (SC)
うつ病 Depression (D)
躁病 Mania (M)
パニック障害 Panic Disorder (PD)
特定の恐怖症 Specific Phobia (SP)
社交不安障害 Social Phobia (SO)
広場恐怖 Agoraphobia (AG)
全般性不安障害 Generalized Anxiety Disorder (G)
自殺傾向 Suicidality (SD)
サービス利用 Services (SR)
東日本大震災 (GE) ¹
物質使用 Substance Use (SU)
心的外傷後ストレス障害 Post-Traumatic Stress Disorder (PT)
てんかんセクション (EP) ¹
慢性疾患 Chronic Conditions (CC)
精神病スクリーニング (PS) ²
人口統計要因 Demographics (DM)
雇用状態 Employment (EM)
経済的状态 Finances (FN)
結婚 Marriage (MR)
子供 Children (CN)
子供時代 Childhood (CH) ²
引きこもり Withdraw (WD) ¹
面接者の観察 Interviewer Observation (IO)

¹ 日本で独自に追加した項目

² Part 2 セクション

表 1 - 2 世界精神保健日本調査セカンド 2013 関東地方調査で使用した WHO-CIDI 面接の流れ



人口統計要因 Demographics (DM)



雇用状態 Employment (EM)



経済的状态 Finances (FN)



結婚 Marriage (MR)



子供 Children (CN)



【Long group と判断（症状ありの場合 100%、それ以外の場合 30%の確率で選択）※

No Yes→子供時代 Childhood (CH)



引きこもり Withdraw (WD)



調査完了

※本調査ではプログラミングの誤りで、症状なしの者のほぼ 100%が long group に区分されていたことが調査後に判明した。

表 1-3 世界精神保健日本調査セカンド 2013 関東地方調査で診断できる精神疾患の一覧

DSM-IV	ICD-10
気分障害	気分（感情）障害
大うつ病性障害	重症うつ病エピソード
小うつ病性障害	中等度うつ病エピソード
躁病エピソード	軽症うつ病エピソード
双極 I 型障害	躁病エピソード
軽躁病エピソード	軽躁病
双極 II 型障害	気分変調症
気分変調性障害	神経症性・ストレス性障害
焦燥性大うつ病性障害	パニック障害
焦燥性小うつ病性障害	パニック障害を伴わない広場恐怖
不安障害	社会恐怖
パニック障害	特定の恐怖
パニック障害の既往歴がない広場恐怖	全般性不安障害
社交不安障害（社会恐怖）	外傷性ストレス障害
特定の恐怖	精神作用性物質による精神および行動上の障害
全般性不安障害	アルコールの有害な使用
心的外傷後ストレス障害	アルコール依存症
物質関連障害	薬物の有害な使用
アルコール乱用	薬物依存症
アルコール依存	
薬物乱用	
薬物依存	

注 1：以上以外に、てんかん、および、ひきこもりを調査している。CIDI てんかんセクションの出典は D'Souza WJ. Epidemiology of Epilepsy in Tasmania. 2008. Wellington, NZ: Massey University. (PhD Dissertation) ; Ngugi, A.K., et al., Prevalence of active convulsive epilepsy in sub-Saharan Africa and associated risk factors: cross-sectional and case-control studies. Lancet Neurol, 2013;12(3): 253-63.

注 2：社交不安障害セクションについては、TKS Scale より対人恐怖症に関する項目を一部抜粋して追加している。診断ロジックには影響はない。出典は Hiruma N & Harada N. Cultural factors in social anxiety: a comparison of social phobia symptoms and Taijin Kyofusyo. J Anxiety Disord. 1997;11(2): 157-77 ; 永田利彦他. 社会不安障害における価値観：古典的対人恐怖との関連. 精神医学. 2004; 46(2):141-7.

表1-4 世界精神保健日本調査セカンド2013 関東地方調査で使用した CIDI スクリーニング(SC)セッションにおける質問文の新旧対照表 (変更のあったもののみ)

1. パニック障害のスクリーニング質問

SC20 (次の質問をゆっくり読みなさい。) これまでに、突然とても怖くなったり不安になったり、あるいはひどく落ち着かなくなったりする恐怖やパニックの発作が起きたことはありますか。

SC20 (新) (次の質問をゆっくり読みなさい。) これまでに、突然ひどく恐ろしくなったり心配や不安を感じ、恐怖やパニックにおそわれたことがありますか。

SC20a これまでに突然、とても気分が悪くなったり、息切れ、めまい、吐き気、動悸のいずれかがしたり、あるいは自分を抑えられなくなるかもしれない、死ぬかもしれない、または気が狂うかもしれないと思ったりする発作が起きたことはありますか。

SC20a (新) 急にとても気分が悪くなったり、息切れ、めまい、吐き気、動悸がしたり、あるいは、自分をおさえられなくなるかもしれない、死ぬかもしれない、気が狂うかもしれないといった状態や思いにおそわれたことがありますか。

2. うつ病エピソードのスクリーニング質問

SC21 これまでに、ほとんど1日中、悲しい、虚しい、あるいはゆううつと感じたことが数日以上ずっと続いた期間がありましたか。

SC21 (新) これまでに、一日の大半を悲しい、むなしい、あるいはゆううつな気持ちで過ごし、それが数日以上続いた時期がありましたか。

SC22 これまでに、ほとんど1日中、自分の人生で物事がどうなるのかについて、とても落胆したことが数日以上ずっと続いた期間がありましたか。

SC22 (新) これまでに、自分の人生がどうなるのか考えて一日の大半をととても沈んだ気分でも過ごし、それが数日以上続いた時期がありましたか。

SC23 これまでに、仕事、趣味、人間関係のように、ふだん楽しんでいることのほとんどに興味がなくなったことが、数日以上ずっと続いた期間がありましたか。

SC23 (新) これまでに、仕事、趣味、人との付き合いなど、いつもなら楽しめていたことにほとんど興味なくなり、それが数日以上続いた時期がありましたか。

3. そう病エピソードのスクリーニング質問

SC24 数日以上続けて、いつもよりずっと興奮して気力に満ちていた時期を経験する人もいます。こうした時期には、考えるスピードが自分でも早すぎてついてゆけなくなったり、

とてもおしゃべりになったりします。また、落ち着かず座っていられなかったり、あるいはスピードを出すぎして運転したり、派手な買い物をしたりなど、いつもならしないようなことをします。あなたは、これまでに、数日以上続けて、こうした期間を経験したことがありますか。

SC24 (新)

人によっては、ふだんよりも気持ちが高ぶってエネルギーに満ちあふれた状態が数日以上続く場合があります。いろいろな考えが次々浮かぶこと、おしゃべりになることもあります。落ち着かず、じっと座っていられなかったり、いつもならしないようなスピード運転やむだ使いをすることもあります。あなたはこれまでに、このような状態が数日以上続いたことがありますか。

SC25

これまでに、ほとんどの時間、とてもイライラしたり、気難しかったり、不機嫌だったりが数日以上ずっと続いたことがありますか。

SC25_1

すぐにイライラする、不愉快な気分になる、あるいは機嫌が悪いといった状態で一日の大半を過ごし、それが数日以上続いた時期がありましたか。

SC25a

これまでに、言い争いを始めたり、人に向かって怒鳴ったり、あるいは人を殴ったりしてしまうほど、ほとんどいつも、とてもイライラしていたことが、数日以上続いた期間がありましたか。

SC25a (新)

すぐに人と言い争いになったり、誰かをどなったりたたいたりするほどイライラした気で一日の大半を過ごし、それが数日以上続いた時期がありましたか。

4. 全般性不安障害のスクリーニング質問

SC26

次の質問をゆっくり読みなさい。これまでに、心配性だった時がありましたか。つまり、あなたと同じような問題を抱えている他の人よりもかなりたくさん心配をした時がありましたか。

SC26 (新)

あなたは、自分が心配性で、他の人と同じような悩み事でもひどく心配しすぎた、という時がありますか。

SC26a

これまでに、同じような問題を持っているたいていの人たちにくらべて、ずっと神経質だったり、不安に感じたことがありますか。

SC26a (新)

これまでに、自分と同じような問題をかかえている人に比べて、とても神経質だったり不安が強かった時がありましたか。

5. 特定の恐怖のスクリーニング質問

SC27_4

あなたの怖がり方は、そうあるべき程度よりもずっと強かったと思いますか。

SC27_4 (新)

あなたの怖がり方は、一般的にみてもかなり強かったと思いますか。

6. 社交不安障害のスクリーニング質問

SC29

小冊子の 4 ページを見てください。これまでに、初めての人と会ったり、パーティに行ったり、デートをしたり、公共のトイレを使ったりといったような時に、ひどく怖かったり、本当にひどく恥ずかしがり屋だったりした時期がありましたか。

SC29 (新)

小冊子の 4 ページを見てください。初めての人と会ったり、パーティーに行ったり、デートをしたり、外のトイレを使ったりする時など、とても怖かったり極端にはずかしかったりした時がありましたか。

SC29a

これまでに、スピーチをしたり、教室で話すなどのように、人の前で何かをしなくてはならない時に、ひどく怖かったり、気分が悪かったりしたことがありましたか。

SC29a (新)

これまでに、スピーチをしたり、教室で発表するなど、人前で何かをしなければならぬ時に、とてもこわかったり落ち着かなかった時がありましたか。

SC29_1

これまでに、(この状況/これらの状況のどれかで) ひどくイライラしたり、神経質になったことがありましたか。

SC29_1 (新)

これまでに、(この状況/これらの状況のどれかで) でひどく動揺したり緊張した時がありましたか。

表1-5 世界精神保健日本調査セカンド 2013 関東地方調査における自己記入式質問票の測定項目と使用尺度

測定項目	使用尺度と出典・参考文献
1 健康状態と生活習慣	身長、体重、喫煙習慣、運動習慣、睡眠
2 慢性疾患	慢性疾患の生涯罹患と初発年齢、過去 12 ヶ月の罹患の有無
3 心理的抑うつ (K6)	Furukawa TA et al. The performance of the Japanese version of the K6 and K10 in the World Mental Health Survey Japan. <i>Int J Methods Psychiatr Res.</i> 2008;17(3):152-8. Kessler RC et al. Short screening scales to monitor population prevalences and trends in non-specific psychological distress. <i>Psychol Med.</i> 2002 Aug;32(6):959-76.
4 健康関連 QOL (SF8)	Ware JE et al. How to score and interpret single-item health status measures: a manual for users of the SF-8™ Health Survey. 2001. Quality Metric Inc., Lincoln. 福原俊一, 鈴嶋よしみ: SF-8m 日本語版マニュアル. 2004. NPO 健康医療評価研究機構, 京都.
5 職業と職業性ストレス	Tsutsumi A. Effort-reward imbalance model occupational stress questionnaire user manual Japanese version. 2007. (http://mental.m.u-tokyo.ac.jp/jstress/ERI/index.htm) Siegrist J et al. The Measurement of effort-reward imbalance at work: european comparisons. <i>Soc Sci Med.</i> 2004;58(8):1483-99. 新職業性ストレス簡易調査票より一部抜粋 http://mental.m.u-tokyo.ac.jp/jstress/
6 医療保険等	健康保険、介護保険、その他の保険
7 家族の介護	要介護者の有無、主な介護者、介護負担
8 社会的ネットワークとサポート	栗本鮎美 他. 日本語版 Lubben Social Network Scale 短縮版 (LSNS-6) の作成と信頼性および妥当性の検討. <i>日本老年医学会雑誌.</i> 2011; 48(2):149-57. Lin N. Social capital: a theory of social structure and action, 2001. Cambridge: Cambridge University Press. Lin N. "Building a Network Theory of Social Capital" in Lin, Nan, Karen Cook, and Ronald Burt eds., <i>Social Capital: Theory and Research</i> , 2001. New York: Aldine de Gruyter. Kawachi I, Subramanian SV, and Kim D. eds. <i>Social Capital and Health</i> . 2008. New York: Springer Science + Business Media.
9 ソーシャルキャピタル	山岡和江他. 国際比較調査データの安定性についての検証: 2003 年度韓国と台湾における「健康と文化調査」および「東アジア価値観国際比較調査」データの比較. <i>行動計量学.</i> 2004; 31(2):125-35. Sampson RJ, Raudenbush SW, Earls F. Neighborhoods and violent crime: a multilevel study of collective efficacy. <i>Science.</i> 1997;277(5328):918-24.

1 0 社会の変化	国民性の比較調査：7か国国際比較調査。（研究代表：林知己夫）国際比較調査データアーカイブ (http://www.ism.ac.jp/~yoshino/arito/jp/top_j.htm)
1 1 性格特性・発達障害 (性格：TIPI-J, 自閉傾向：AQJ, 注意欠陥多動性障害：ASRS-v1.1, レジリエンス：RAS 14)	小塩真司他. 日本語版 Ten Item Personality Inventory (TIPI-J) 作成の試み. パーソナリティ研究. 2012;21(1):40-52 Kurita H et al. Autism-Spectrum Quotient-Japanese version and its short forms for screening normally intelligent persons with pervasive developmental disorders. Psychiatry Clin Neurosci. 2005;59(4):490-6 WHO.成人期の ADHD 自己記入式スクリーニング (ASRS-v1.1) http://www.hcp.med.harvard.edu/ncs/ftplib/adhd/6Q_Japanese_final.pdf Nishi et al.: Reliability and validity of the Japanese version of the resilience scale and its short version, BMC Research Notes. 2010; 3:310.
1 2 インターネットの利用	Meerkerk GJ et al. The Compulsive Internet Use Scale (CIUS): some psychometric properties. Cyberpsychol Behav. 2009;12(1):1-6. Yong KFR. The reliability and validity of three internet addiction instruments in the Japanese population. 2013. Tokyo: the University of Tokyo (PhD dissertation).

表1-6 世界精神保健日本調査セカンド 2013 関東地方調査における調査員トレーニングのスケジュール

第1回 9:00-17:00	第2回 9:00-16:00	第3回 10:00-17:00
9:00 オリエンテーション	9:00 昨日のレビュー	10:00 調査全体の流れ
9:10 CIDIについて	9:10 質問票の構成(3)	10:30 注意すべき質問
9:30 WMHJ2とは	⑭心的外傷後ストレス障害	11:00 パソコンの使い方
10:00 訪問調査の依頼 休憩(5分)	⑮慢性疾患	休憩(1時間)
10:35 パソコンの使い方	⑯30日間の機能	12:30 フル模擬面接①
11:15 インタビュー 一般的なルールと注意事項 注意すべき回答への対応 休憩(1時間)	⑰30日間の症状	休憩(10分)
12:30 質問票の構成(1)	⑱精神病性障害	14:40 フル模擬面接②
①スクリーニング	⑲雇用状態	16:40 まとめと物品確認
②うつ病	⑳経済状態	17:00 終了
③躁(そう)病	＊介護負担	
④パニック	＊てんかん	
⑤特定の恐怖症	9:45 質問票の構成(4)	
⑥社交不安障害	＊結婚	
⑦広場恐怖	＊子ども	
⑧全般性不安障害	＊社会的ネットワーク	
13:00 模擬面接(1) 休憩(10分)	＊子ども時代	
14:20 質問票の構成(2)	＊注意欠陥・多動性障害	
⑨自殺	＊災害	
⑩サービス利用	＊インターネット依存	
⑪人口統計学的要因	＊ひきこもり	
⑫人格	休憩(5分)	
⑬物質使用	10:20 質疑応答	
14:50 模擬面接(2)	10:30 模擬面接(3) 休憩(1時間)	
16:00 模擬面接のふりかえり	12:30 模擬面接のふりかえり	
	12:50 フル模擬面接① 休憩(10分)	
	14:10 フル模擬面接②	
	15:30 模擬面接のふりかえり	

表2 世界精神保健日本調査セカンド2013年関東地方調査の対象者、面接完了者、拒否者、対象外者数

	人数
対象者（正規サンプル）	1,650
対象者（予備サンプル）	250
対象者（正規＋予備サンプル）	1,900
面接完了	525
面接不能	
拒否	938
短期不在	262
長期不在	31
構造上アプローチ不可	9
転居・空き地・更地*1	84
死亡・病気・入院*1	16
住所不明*1	19
その他	5
予約あったが不能	8
面接途中終了	3

*1 調査時点で死亡・入院、転居などしていた者は対象外とした

2 長期不在、構造上アプローチ不可、転居・空き地・更地、死亡・病気・入院、住所不明を除いた1750人を母数とした面接調査の回答率は30.0%、自己記入式調査票の回答率は33.3%であった。また、コンタクトが可能であった者（1,479）を母数とすると、面接調査の回答率は35.5%、自己記入式調査票の回答率は39.4%であった。

表 3 - 1 世界精神保健日本調査セカンド 2013 年関東地方調査の回答者 525 人の基本属性

変数		回答者数	%
性別	男性	253	48.2
	女性	272	51.8
	欠損※	2	0.4
年齢	20-34 歳	105	20.0
	35-44 歳	100	19.0
	45-54 歳	96	18.3
	55-64 歳	102	19.4
	65 歳以上	122	23.2
	婚姻状態	結婚している	397
	別居している	2	0.4
	離婚した	22	4.2
	死別した	17	3.2
家族形態	未婚	87	16.6
	単身	37	7.0
	夫婦のみ	109	20.8
	子と同居（二世帯）	239	45.5
	親と同居（二世帯）	70	13.3
	親および子と同居（三世帯）	59	11.2
	その他の親族と同居	8	1.5
	親族以外と同居	3	0.6
	移動能力	一人で外出可能	519
	一人で外出できない	6	1.1
国籍	日本	519	98.9
	日本以外	3	0.6
	欠損値	3	0.6
学歴	中学校	41	7.8
	高校	194	37.0
	専門学校（専修課程／入学資格・中卒以上）	20	3.8
	専門学校（高等課程／入学資格・高卒以上）	63	12.0
	短期大学、高等工業専門学校（高専）	45	8.6
	大学	137	26.1
	大学院	22	4.2
	欠損値	3	0.6
	現在の雇用状況	現在働いている	306
自営業		45	8.6
求職中（失業中）		6	1.1
退職した		57	10.9
家事		85	16.2
学生		10	1.9
産休中		5	1.0
病気休業中		1	0.2
障害のために働けない		3	0.6
その他（具体的にたずねる）		5	1.0
欠損値		2	0.4

表3-2: DSM-IV診断による主要な精神疾患の生涯有病率(性別)

	男性(253名)		女性(271名)		合計(524名)		χ^2
	%	人数	%	人数	%	人数	
気分障害							
大うつ病性障害	4.3%	11	8.1%	22.0	6.3%	33	3.2
小うつ病性障害	0.4%	1	0.4%	1.0	0.4%	2	0.0
躁病エピソード	1.2%	3	0.4%	1.0	0.8%	4	1.2
双極I型障害	1.2%	3	0.4%	1.0	0.8%	4	1.2
軽躁病エピソード	0.0%	0	0.7%	2.0	0.4%	2	1.9
双極II型障害	0.0%	0	0.4%	1.0	0.2%	1	0.9
気分変調性障害	0.8%	2	1.5%	4.0	1.1%	6	0.5
いずれかの気分障害	5.9%	15	9.6%	26.0	7.8%	41	2.4
不安障害							
パニック障害	0.4%	1	0.0%	0.0	0.2%	1	1.1
パニック障害の既往歴のない広場恐怖	0.0%	0	0.4%	1.0	0.2%	1	0.9
社会恐怖(社交不安障害)	2.0%	5	4.4%	12.0	3.2%	17	2.5
特定の恐怖	1.6%	4	4.4%	12.0	3.1%	16	3.6
全般性不安障害	1.2%	3	3.0%	8.0	2.1%	11	2.0
心的外傷後ストレス障害	0.0%	0	1.8%	5.0	1.0%	5	4.7 *
いずれかの不安障害	4.7%	12	10.3%	28.0	7.6%	40	5.8 *
物質関連障害							
アルコール乱用	24.1%	61	10.3%	28.0	17.0%	89	17.6 *
アルコール依存	1.2%	3	0.0%	0.0	0.6%	3	3.2
薬物乱用	0.8%	2	0.7%	2.0	0.8%	4	0.0
薬物依存	0.0%	0	0.0%	0.0	0.0%	0	
いずれかの物質関連障害	25.7%	65	10.7%	29.0	17.9%	94	20.0
いずれかの精神疾患	30.4%	77	24.0%	65.0	27.1%	142	2.8

* p < 0.05, ** p < 0.01, χ^2 検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)

表3-3:DSM-IV診断による主要な精神疾患の生涯有病率(年齢層別)

	20-34歳 (N=105)		35-44歳 (N=101)		45-54歳 (N=96)		55-64歳 (N=102)		65歳以上 (N=122)		合計 (N=526)		χ^2
	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	
気分障害													
大うつ病性障害	9.5%	10	8.9%	9	7.3%	7	3.9%	4	2.5%	3	6.3%	33	7.2
小うつ病性障害	0.0%	0	0.0%	0	2.1%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.4%	2	9.0
躁病エピソード	0.0%	0	2.0%	2	2.1%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.8%	4	6.7
双極I型障害	0.0%	0	2.0%	2	2.1%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.8%	4	6.7
軽躁病エピソード	0.0%	0	2.0%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.4%	2	8.4
双極II型障害	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.2%	1	4.2
気分変調性障害	0.0%	0	3.0%	3	2.1%	2	0.0%	0	0.8%	1	1.1%	6	6.3
いずれかの気分障害	9.5%	10	12.9%	13	11.5%	11	3.9%	4	2.5%	3	7.8%	41	12.8 *
不安障害													
パニック障害	0.0%	0	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.2%	1	4.5
パニック障害の既往歴のない広場恐怖	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.2%	1	4.2
社会恐怖(社交不安障害)	5.7%	6	5.0%	5	4.2%	4	1.0%	1	0.8%	1	3.2%	17	7.2
特定の恐怖	2.9%	3	2.0%	2	3.1%	3	2.9%	3	4.1%	5	3.0%	16	0.9
全般性不安障害	2.9%	3	4.0%	4	2.1%	2	1.0%	1	0.8%	1	2.1%	11	3.6
心的外傷後ストレス障害	1.9%	2	2.0%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.8%	1	1.0%	5	4.1
いずれかの不安障害	10.5%	11	9.9%	10	8.3%	8	4.9%	5	4.9%	6	7.6%	40	4.4
物質関連障害													
アルコール乱用	20.0%	21	23.8%	24	15.6%	15	14.7%	15	11.5%	14	16.9%	89	7.1
アルコール依存	1.9%	2	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.6%	3	5.5
薬物乱用	1.0%	1	3.0%	3	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.8%	4	9.0
薬物依存	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
いずれかの物質関連障害	21.9%	23	25.7%	26	16.7%	16	14.7%	15	11.5%	14	17.9%	94	9.6 *
いずれかの精神疾患	37.1%	39	32.7%	33	26.0%	25	22.5%	23	18.0%	22	27.0%	142	13.2 *

* p < 0.05, ** p < 0.01, χ^2 検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)

表3-4: DSM-IV診断による主要な精神疾患の12カ月有病率(性別)

	男性(253名)		女性(271名)		合計(524名)		χ^2
	%	人数	%	人数	%	人数	
気分障害							
大うつ病性障害	1.6%	4	3.7%	10	2.7%	14	2.2
小うつ病性障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
躁病エピソード	0.4%	1	0.0%	0	0.2%	1	1.1
双極I型障害	0.4%	1	0.0%	0	0.2%	1	1.1
軽躁病エピソード	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
双極II型障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
気分変調性障害	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	2	0.0
いずれか気分障害	2.0%	5	3.7%	10	2.9%	15	1.4
不安障害							
パニック障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
パニック障害の既往歴のない広場恐怖	0.0%	0	0.4%	1	0.2%	1	
社会恐怖(社交不安障害)	0.8%	2	3.7%	10	2.3%	12	0.9
特定の恐怖	0.4%	1	1.8%	5	1.1%	6	4.9 *
全般性不安障害	0.8%	2	0.7%	2	0.8%	4	2.4
心的外傷後ストレス障害	0.0%	0	0.7%	2	0.4%	2	0.0
いずれか不安障害	2.0%	5	6.3%	17	4.2%	22	6.0 *
物質関連障害							
アルコール乱用	2.0%	5	1.1%	3	1.5%	8	1.9
アルコール依存	0.4%	1	0.0%	0	0.2%	1	0.7
薬物乱用	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	1.1
薬物依存	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
いずれか物質関連障害	2.4%	6	1.1%	3	1.7%	9	1.2
いずれか精神疾患	5.9%	15	9.2%	25	7.6%	40	2.0

* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, χ^2 検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)

表3-5: DSM-IV診断による主要な精神疾患の12カ月有病率(年齢層別)

	20-34歳 (N=105)		35-44歳 (N=101)		45-54歳 (N=96)		55-64歳 (N=102)		65歳以上 (N=122)		合計 (N=526)		χ^2
	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	
気分障害													
大うつ病性障害	4.8%	5	3.0%	3	5.2%	5	1.0%	1	0.0%	0	2.7%	14	8.7
小うつ病性障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
躁病エピソード	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.2%	1	4.2
双極I型障害	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.2%	1	4.2
軽躁病エピソード	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
双極II型障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
気分変調性障害	0.0%	0	0.0%	0	2.1%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.4%	2	9.0
いずれかの気分障害	4.8%	5	4.0%	4	5.2%	5	1.0%	1	0.0%	0	2.9%	15	8.6
不安障害													
パニック障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
パニック障害の既往歴のない広場恐怖	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.2%	1	4.2
社会恐怖(社交不安障害)	4.8%	5	3.0%	3	3.1%	3	0.0%	0	0.8%	1	2.3%	12	7.0
特定の恐怖	1.0%	1	2.0%	2	1.0%	1	1.0%	1	0.8%	1	1.1%	6	0.8
全般性不安障害	0.0%	0	1.0%	1	2.1%	2	0.0%	0	0.8%	1	0.8%	4	3.9
心的外傷後ストレス障害	1.0%	1	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.4%	2	3.1
いずれかの不安障害	4.8%	5	6.9%	7	6.3%	6	1.0%	1	2.5%	3	4.2%	22	6.5
物質関連障害													
アルコール乱用	2.9%	3	2.0%	2	1.0%	1	2.0%	2	0.0%	0	1.5%	8	3.6
アルコール依存	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.2%	1	4.0
薬物乱用	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
薬物依存	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
いずれかの物質関連障害	3.8%	4	2.0%	2	1.0%	1	2.0%	2	0.0%	0	1.7%	9	5.2
いずれかの精神疾患	12.4%	13	9.9%	10	10.4%	10	3.9%	4	2.5%	3	7.6%	40	11.8 *

* p < 0.05, ** p < 0.01, χ^2 検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)

表3-6: DSM-IV診断による主要な精神疾患の30日有病率(性別)

	男性(253名)		女性(271名)		合計(524名)		χ^2
	%	人数	%	人数	%	人数	
気分障害							
大うつ病性障害	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	2	0.0
小うつ病性障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
躁病エピソード	0.4%	1	0.0%	0	0.2%	1	1.1
双極I型障害	0.4%	1	0.0%	0	0.2%	1	1.1
軽躁病エピソード	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
双極II型障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
気分変調性障害	0.4%	1	0.0%	0	0.2%	1	1.1
いずれかのお気分障害	0.8%	2	0.4%	1	0.6%	3	0.4
不安障害							
パニック障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
パニック障害の既往歴のない広場恐怖	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
社会恐怖(社交不安障害)	0.4%	1	1.1%	3	0.8%	4	0.9
特定の恐怖	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	2	0.0
全般性不安障害	0.0%	0	0.4%	1	0.2%	1	0.9
心的外傷後ストレス障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
いずれかのお不安障害	0.8%	2	1.8%	5	1.3%	7	1.1
物質関連障害							
アルコール乱用	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	2	0.0
アルコール依存	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
薬物乱用	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
薬物依存	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	.
いずれかのお物質関連障害	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	2	0.0
いずれかのお精神疾患	2.0%	5	2.6%	7	2.3%	12	0.2

* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, χ^2 検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)

表3-7:DSM-IV診断による主要な精神疾患の30日有病率(年齢層別)

	20-34歳 (N=105)		35-44歳 (N=101)		45-54歳 (N=96)		55-64歳 (N=102)		65歳以上 (N=122)		合計 (N=526)		χ^2
	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	
気分障害													
大うつ病性障害	0.0%	0	0.0%	0	2.1%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.4%	2	9.0
小うつ病性障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
躁病エピソード	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.2%	1	4.2
双極I型障害	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.2%	1	4.2
軽躁病エピソード	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
双極II型障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
気分変調性障害	0.0%	0	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.2%	1	4.5
いずれかの気分障害	0.0%	0	1.0%	1	2.1%	2	0.0%	0	0.0%	0	0.6%	3	6.1
不安障害													
パニック障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
パニック障害の既往歴のない広場恐怖	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
社会恐怖(社交不安障害)	1.9%	2	1.0%	1	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.8%	4	3.7
特定の恐怖	1.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.8%	1	0.4%	2	2.7
全般性不安障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.8%	1	0.2%	1	3.3
心的外傷後ストレス障害	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
いずれかの不安障害	2.9%	3	1.0%	1	1.0%	1	0.0%	0	1.6%	2	1.3%	7	3.5
物質関連障害													
アルコール乱用	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	0.4%	2	3.2
アルコール依存	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
薬物乱用	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
薬物依存	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
いずれかの物質関連障害	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	1.0%	1	0.0%	0	0.4%	2	3.2
いずれかの精神疾患	2.9%	3	3.0%	3	3.1%	3	1.0%	1	1.6%	2	2.3%	12	1.7

* p < 0.05, ** p < 0.01, χ^2 検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)

表3-8:ICD-10診断による主要な精神疾患の生涯有病率(性別)

	男性(253名)		女性(271名)		合計(524名)		χ^2
	%	人数	%	人数	%	人数	
気分(感情)障害							
重症うつ病エピソード	2.0%	5	4.8%	13	3.4%	18	3.1
中等症うつ病エピソード	1.6%	4	1.5%	4	1.5%	8	0.0
軽症うつ病エピソード	1.2%	3	1.1%	3	1.1%	6	0.0
全てのうつ病エピソード	4.7%	12	7.4%	20	6.1%	32	1.6
躁病エピソード	1.6%	4	1.5%	4	1.5%	8	0.0
軽躁病	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
気分変調症	0.8%	2	2.2%	6	1.5%	8	1.8
いずれかのお気分(感情)障害	5.9%	15	9.2%	25	7.6%	40	2.0
神経症性・ストレス性障害							
パニック障害	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	2	0.0
パニック障害をとまなわない広場恐怖	0.0%	0	1.1%	3	0.6%	3	2.8
社会恐怖(社交不安障害)	2.0%	5	5.5%	15	3.8%	20	4.5 *
特定の恐怖	2.8%	7	7.4%	20	5.2%	27	5.7 *
全般性不安障害	1.6%	4	4.1%	11	2.9%	15	2.9
心的外傷後ストレス障害	0.4%	1	2.6%	7	1.5%	8	4.2 *
いずれかの神経症性・ストレス性障害	6.3%	16	14.0%	38	10.3%	54	8.4 *
精神作用物質による精神および行動上の障害							
有害な使用-アルコール	23.7%	60	11.1%	30	17.2%	90	14.7 *
アルコール依存症	1.6%	4	0.0%	0	0.8%	4	4.3 *
有害な使用-薬物	0.8%	2	0.7%	2	0.8%	4	0.0
薬物依存症	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
いずれかの精神作用物質による障害	25.7%	65	11.4%	31	18.3%	96	17.8 *
いずれかの精神疾患	30.8%	78	25.1%	68	27.9%	146	2.1

* p < 0.05, ** p < 0.01, χ^2 検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)